



月刊 さいとう健けん

発行所:自由民主党本部 定価1部108円(税込)毎週火曜日発行
住所:〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話:03-3581-6211(代表) ホームページ:http://www.jimin.jp/

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。3期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長を経て、現在、農林水産副大臣として農協
改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味]ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物]ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)
[尊敬する人物]高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎

やっぱり
この界だ



2月号

平成29年1月28日発行

「アメリカは どこへ？」

『TPP離脱』

トランプ新大統領が誕生しました。

さっそく、TPP(環太平洋パートナーシップ)から永久に離脱するという判断が示されました。TPPは、さいとう健が農林水産副大臣として、あるいは自民党農林部会長として3年間にわたり苦勞して、ようやく国会承認までこぎつけたものです。残念でなりません。

TPPは、世銀の分析によりますと、わが国の経済成長を2.7%押し上げ、輸出も23%増やすという、わが国の成長戦略にきわめて有効なものであるだけでなく、当然のことながらアメリカにとっても大いにプラスとなるものです。

わが国はこれまで、まず、アメリカを含む成長著しい環太平洋の12ヶ国が加わるTPPを実現する。そして、東南アジア10ヶ国と日中韓、インド、オーストラリア、ニュージーランドの16ヶ国からなるRCEP(アールセップ)と呼ばれる自由貿易地域。さらに、EUとの経済連携協定。これら三つを仕上げることによって、アメリカ、中国、インド、EUを全て取り込んだ経済活力地域を作り上げることが、通商の大戦略でありました。その一番重要なTPPが崩れつつあります。そして、代わりに日米二国間で交渉しようというのがトランプ大統領の考えですが、日米二国間の協定は、TPPに代わるものとは到底なりません。可能性は低くなっただけとはいえ、最後までTPPというベストの道を追及していきたいと思えます。

『報復合戦?』

また、トランプ大統領は、不法移民対策としてメキシコからの輸入品に高関税をかけるとか、メキシコに工場を作ってアメリカに輸出するような企業には高額の国境税をかけると主張しています。このことは、具体的内容にもよりますが、国際的な貿易ルールに反します。通商交渉に実際にたずさわってきた、さいとう健のこれまでの経験からいたしますと、メキシコも決してやられっ放しにはなりません。今度は、必ずメキシコがアメリカからの輸入品に高関税をかけて報復することになるでしょう。そうすると報復合戦です。(裏面につづく)



柔道の鏡開きにて、おしるこを一緒に味わいました。寒い中、心まで温まります。



中学生に向けて、地域の絆・親子の絆を深めるため、熱いメッセージを送りました。

(おもて面から)

振り返れば、1929年の世界大恐慌後の世界は、自国産業を守るための高関税のかけ合いが一つの原因となって、第二次世界大戦に向かっていきました。その反省から、戦後GATT(ガット)という国際機関ができて、高関税のかけ合いをなくし、世界全体で関税はじめ貿易ルールを決めていこうとなったわけです。トランプ新政権がこれから行おうとしていることは、まさにいつか来た道になりかねないものではないでしょうか。

『どこに向かうのか。』

トランプ大統領。アメリカファーストを政権理念としています。世界のことはどうでもいいとまで言いませんが、とにかく自国のことが最優先。これまでのアメリカ大統領とトランプ大統領は大きく違って見えます。

このトランプ大統領をどう見ればいいのか。たまたま異質な方が大統領となったというふうに見るのか、あるいは、これからアメリカが内向き志向に変質を遂げていく、その前兆現象と見るべきなのか。

さいとう健は、1990年代の初め、アメリカで外交を専門に勉強しておりました。そのとき、東西冷戦が終わりました。冷戦後のアメリカは、ソ連との死にもの狂いの戦いのために西側諸国を応援していく必要もない、国力もだんだんと低下していく、いつまで世界の警察官としての役割を演じていけるか、いつまで通商の世界で大人の対応をしていけるか、異国の地で漠然とした不安を感じたものでした。

今回、トランプ大統領が選挙期間中を通じてこれまで示してきた態度は、まさに四半世紀前にさいとう健が感じた不安を思い起こさせるものであります。



流山市政50周年式典に地元代表として祝辞。今後の発展を期待します。



子育てをしながら音楽を楽しむママさん達のコンサートに参加し、私もリフレッシュ!

アメリカはどこに向かおうとしているのか。

国政の片隅にいる者として、過去の延長線上ではない対応を考える時期に来たのではないかと今思っています。



「四志の会(ししのかい)」

自民党が野に下った大敗北の総選挙で初当選した議員は、さいとう健含めたたった4人しかおりません。小泉進次郎氏もその1人です。固い結束の下、ときどき党運営にもものを申すなどの活動をしています。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224 E-mail: info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221